

宇治市歴史資料館

年報

令和 6 年度

2024





令和6年度企画展「発掘ものがたり宇治・2025」展示風景

目 次

1 組織と施設

組織と事務分掌	2
あゆみ	2
施設の概要	4

2 事業報告

調査・研究事業	5
展示事業	5
教育・普及事業	23
出版事業	26
保存事業	26
所蔵資料の概要	27
受贈図書	28
利用状況	31

1 組織と施設

組織と事務分掌

■組織

宇治市教育委員会

```
graph TD; A[宇治市教育委員会] --> B[事務局教育部]; B --> C[博物館管理課]; C --> D[企画学芸係]; C --> E[資料学芸係]; D --> F[副課長]; D --> G[主幹]; E --> H[係長]; E --> I[係長]; F --> J[係員]; G --> K[係員]; H --> L[会計年度任用職員]; I --> M[会計年度任用職員];
```

(教育機関)歴史資料館

```
graph TD; A --> N[館長]; N --> O[主幹]; N --> P[主幹]; N --> Q[館員]; P --> R[会計年度任用職員];
```

■事務分掌（宇治市歴史資料館規則より）

- 1 公印の管理に関すること。
- 2 文書の收受及び発送に関すること。
- 3 予算及び決算等に関すること。
- 4 入館者の受付及び入館料等の出納に関すること。
- 5 その他資料館の管理及び運営に関すること。

あゆみ

■ : 歴史資料館関係

□ : 歴史まちづくり推進課（文化財保護係）関係

○ : 源氏物語ミュージアム関係

昭和 39 年(1964) 5 月 □京都府教育委員会、坊主山 2 号古墳の発掘調査を行う（市内初の本格的発掘調査）、これ以降、府教委や調査委員会などにより発掘調査が行われる

昭和 43 年(1968) 4 月 □「宇治市文化財保護委員会条例」制定

昭和 44 年(1969) 4 月 □「宇治市文化財指定条例」制定

昭和 45 年(1970) 1 月 ■市長公室企画広報課内に市史担当主幹を配置
7 月 ■宇治市史編さん委員会設置

10 月 ■市史編さん室設置、専門職員を配置

昭和 48 年(1973) 1 月 ■『宇治市史』第 1 卷刊行

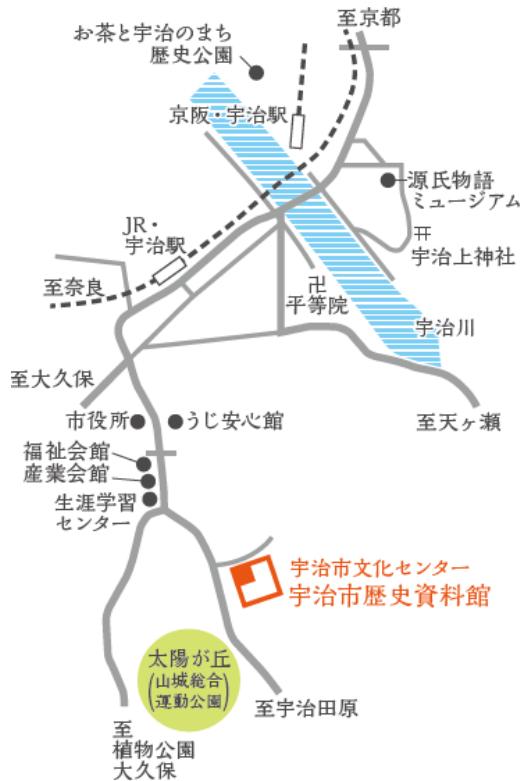
昭和 50 年(1975) 12 月 □「宇治市文化財保護事業補助金交付要綱」制定

昭和 51 年(1976) ■この年から翌年にかけて、市議会で市史編集責任者林屋辰三郎・藤岡謙二

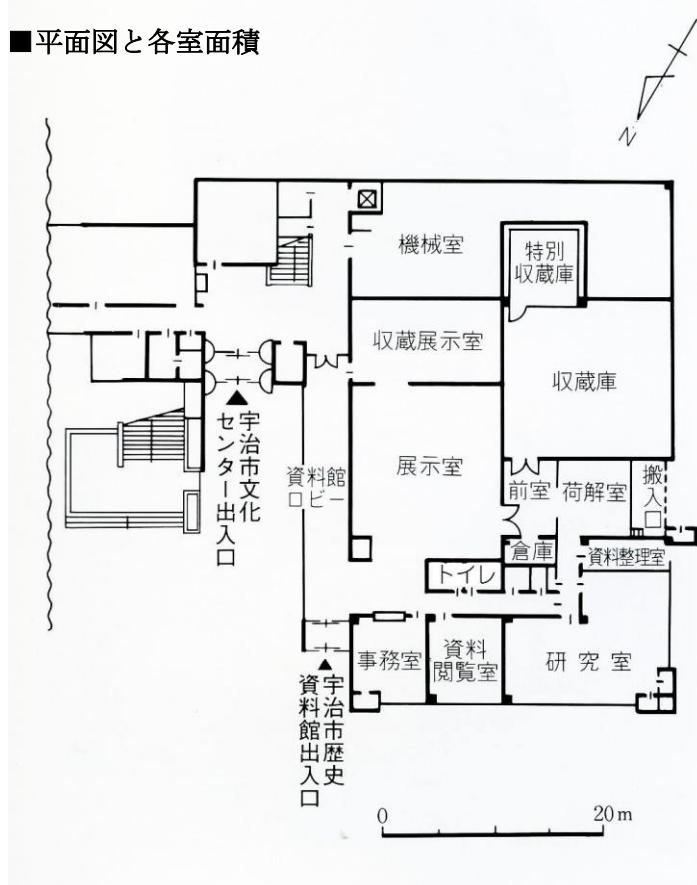
- 郎氏、文化財愛護協会から資料館建設の請願が相次いで採択される
- 昭和 56 年(1981) 3 月 ■市制施行 30 年を記念し『宇治市史』第 6 卷刊行、市史完結
- 4 月 ■市史編さん室、事業の終了にともない歴史資料室となる
□社会教育課社会教育係に文化財専門職員を配置(嘱託、同 58 年正職員化)
- 9 月 ■宇治市民文化センター(仮称)内で、歴史資料館の建設を決定
- 昭和 57 年(1982) 11 月 □『宇治市埋蔵文化財発掘調査概報第 1 集』刊行
- 昭和 58 年(1983) 8 月 ■『宇治市史年表』刊行
- 昭和 59 年(1984) 7 月 ■「宇治市歴史資料館条例」制定(同年 10 月施行)
- 10 月 ■企画管理部歴史資料室を廃し、教育委員会歴史資料館を設置
- 11 月 ■宇治市歴史資料館開館
- 昭和 60 年(1985) 3 月 □第 1 回発掘成果報告会開催
- 4 月 ■第 1 回特別展「宇治茶」開催
- 昭和 61 年(1986) 3 月 ■博物館法第 29 条に基づく博物館相当施設となる
- 昭和 62 年(1987) 3 月 □宇治市文化財調査報告 1 『大鳳寺跡発掘調査報告』刊行
- 平成 3 年(1991) 10 月 ■市制施行 40 周年記念特別展「源氏物語の世界」開催
- 11 月 ○ふるさと創生事業による「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」の第 1 回授賞式を開催 これ以降源氏物語をテーマとした街づくりを展開、その核となる施設として「源氏物語ミュージアム」の建設を構想
- 平成 4 年(1992) 3 月 □市制施行 40 周年記念古代史シンポジウム「うばわれた王権 繼体王朝の謎」開催
- 平成 5 年(1993) 4 月 □社会教育課に文化財保護係を設置(文化係は市民部文化観光課へ移管)
- 平成 6 年(1994) 2 月 □宇治上神社・平等院等「古都京都の文化財」として世界遺産に登録
- 平成 7 年(1995) 4 月 ○企画管理部源氏物語ミュージアム準備室を設置
- 平成 8 年(1996) 12 月 ■文化財保護法第 53 条に基づく公開承認施設となる(平成 23 年 12 月まで 3 期 15 年)
- 平成 10 年(1998) 3 月 ○「宇治市源氏物語ミュージアム条例」制定(同年 11 月施行)
- 4 月 □文化財保護係を社会教育課(同月より生涯学習課に名称変更)から歴史資料館へ移管
■○源氏物語ミュージアム準備室を教育委員会に移管
- 11 月 ○宇治市源氏物語ミュージアム開館
- 平成 13 年(2001) 10 月 ■市制施行 50 周年記念特別展「世界遺産と暮らす街 宇治の名宝」開催
- 平成 20 年(2008) 9 月 ■○源氏物語ミュージアム、フレッシュアップオープン それに併せて、歴史資料館は、源氏物語ミュージアムにおいて企画展「写し伝える美一陽明文庫の源氏物語」を開催し、源氏物語千年紀記念誌『王朝のみやび、ふたたび近衛家と宇治』を刊行する
- 平成 21 年(2009) 4 月 □文化財保護係を都市整備部歴史まちづくり推進課へ移管
- 平成 30 年(2018) 9 月 ○源氏物語ミュージアム、リニューアルオープン
- 平成 31 年(2019) 4 月 ○源氏物語ミュージアム、新作アニメ「GENJI FANTASY ネコが光源氏に恋をした」を公開
- 令和 2 年(2020) 4 月 ■○より効果的・効率的な博物館運営を推進するため、博物館管理課(企画学芸係・資料学芸係)を新設する
- 令和 3 年(2021) 6 月 ■○宇治市歴史資料館に常設展示を開設
- 令和 4 年(2022) 3 月 ■宇治市歴史資料館所蔵「宇治茶の生産・販売用具」397 点(生産用具 286 点・販売用具 111 点)が国登録有形民俗文化財に登録
- 令和 6 年(2024) 12 月 ■令和 5 年改正博物館法第 31 条に基づく博物館相当施設となる。

施設の概要

■所在地 宇治市折居台一丁目1番地 宇治市文化センター内



■平面図と各室面積



展示室	190.95
収藏展示室	93.61
収藏庫	183.32
特別収藏庫	48.64
資料閲覧室	48.84
事務室	46.91
研究室	129.81
資料整理室	19.75
ロビー	107.51
その他	209.44
小計	<u>1,078.78 m²</u>
共用部分(※)	188.63
合計	<u>1,267.41 m²</u>

(※)公民館・図書館等との共用部分

2 事業報告

調査・研究事業

■資料の調査・収集

企画展及び常設展開催のため、関係する資料などの調査・収集を行った。また収蔵資料の活用を図るため、展示解説書『京の夕顔・江戸の朝顔ー『修紫田舎源氏』の錦絵からー』および『収蔵資料調査報告書 27 巨椋池等の漁労用具・関係資料』を作成・刊行した。順次、宇治関係資料の調査・収集に努めている。

展示事業

宇治市歴史資料館は、昭和 59 年(1984)の開館以来、『宇治市史』編纂における歴史学と地理学の協同という基本方針を受け継ぎながら、市域の歴史と文化を知る上で欠かせない歴史資料の収集・保存に努めている。令和 3 年度からは、これら収蔵資料を活用した常設展示を中心としながら、併せて収蔵展示室で企画展を開催している。

なお、特別展は、源氏物語ミュージアムとの総合的な博物館運営による相乗効果を目指し、源氏物語ミュージアム特別企画展と歴史資料館特別展を、原則、隔年で交互に開催することとしている。当初、令和 6 年度は、歴史資料館特別展の開催年度であったが、NHK 大河ドラマ「光る君へ」の放映にあわせる形で源氏物語ミュージアム特別企画展を開催したため、歴史資料館特別展の開催は先送りとなつた。

※以下、特に記載のない資料は当館所蔵。点数を示さないものは 1 点。

※国登録有形民俗文化財「宇治茶の生産・販売用具」の資料名は、登録名称での記載を基本とする。

企画展	宇治茶 名所絵から製茶図まで	令和6年5月11日～6月23日(38日間)
-----	----------------	-----------------------

5 月の宇治は、新茶の季節。宇治茶は、宇治を代表する伝統産業である。江戸時代には、宇治では御茶師が覆下茶園を栽培することを特権的に認められ、將軍や大名、公家、寺社などの御茶御用を勤めた。また、江戸時代後期には、多色刷りの浮世絵である錦絵や全国の名所旧跡を描いた名所絵(名所図会)などが流行し、宇治の茶園や茶摘み風景が画題のひとつとして取り上げられた。さらに、製茶の工程を詳しく描いた製茶図が、江戸時代から大正時代にかけて多く制作された。

本展では、江戸時代から大正時代にかけて描かれた茶園、茶摘み風景などの宇治の名所絵や製茶図を通して宇治茶を紹介した。

[展示構成と展示資料]

資料 45 点 パネル 8 点

■宇治の名所絵

資料 18 点

- | | |
|---------------|-------------|
| 宇治名所古跡之絵図 | 山城国宇治川蛍狩之図 |
| ひとり案内宇治名所古跡之図 | 山城国宇治名所記 |
| 山城国宇治之絵図 | 茶摘図 |
| 宇治川両岸一覧 2 | 京城勝覽 |
| 山城国宇治之里茶園之風景 | 京城勝覽(京めぐり)2 |

- | |
|------------|
| 都名所図会 2 |
| 日本山海名物図会 2 |
| 茶摘み図 |
| 宇治名所絵図 |

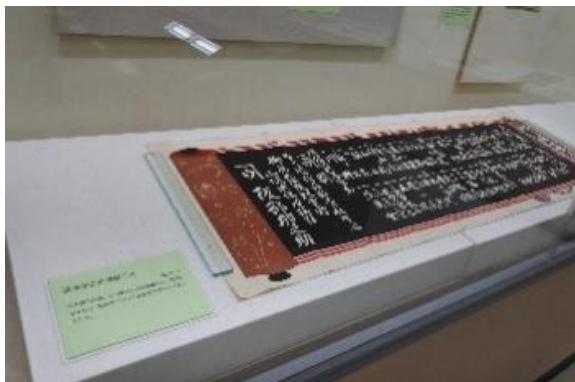


■宇治茶の広がり

資料 9 点

- | | |
|-----------|--------------|
| 阪部卯之助茶舗引札 | 茶商溝田本店引札 |
| 宇治自園名茶売出 | 酒井治助商店(ポスター) |
| 井筒屋利助引札 | 皇国製茶図会 2 |

- | |
|-----------------------------|
| THE ILLUSTRATED LONDON NEWS |
| THE GRAPHIC |



■茶業の近代化と製茶図

資料 18 点

- | | | |
|------------------|----------------|-----------------|
| 製茶新説 | 絵はがき「宇治の製茶風景」9 | 宇治茶ポスター |
| 大日本物産図会 宇治茶製之図 2 | 新茶ポスター | 製茶図(京都府茶業会議所蔵)4 |

■写真パネル

パネル 8 点

- | | |
|-----------|------------|
| 宇治川両岸一覧 6 | 日本山海名物図会 2 |
|-----------|------------|

企画展	戦争遺品展 戦時中のくらし	令和6年7月6日～9月1日(49日間)
-----	---------------	---------------------

今年で戦後 79 年。戦争を体験した人たちが少なくなり、当時の記憶を語り継ぐことが難しくなって

きている。しかし、当時の資料を見ると、戦時中の人びとの暮らしや教育、娯楽のありようなど、様々なことを読み取ることができる。

本展では、宇治市平和都市推進協議会に寄贈された戦争遺品及び当館蔵の資料により、戦時中の暮らしを紹介した。なお、本年度は、新たに収集した雑誌やポスターなども併せて展示した。

共催：宇治市平和都市推進協議会

[展示構成と展示資料]

資料 125 点(内、宇治市平和都市推進協議会所蔵 39 点、宇治市歴史資料館所蔵 86 点) パネル 11 点
映像資料 1 点

◇印：宇治市平和都市推進協議会蔵

■出征

資料 79 点

◇陸軍将校軍服上着

◇日の丸寄せ書き

◇陸軍将校軍服オーバー

慰問袋 2

◇編上靴

◇千人針

◇雑囊

◇腹帶

◇軍帽

皇軍慰問用 勝喜戦 4

◇水筒

慰問用銘茶(茶ラベル)3

◇飯盒

軍事郵便 4

◇双眼鏡(ケース付)

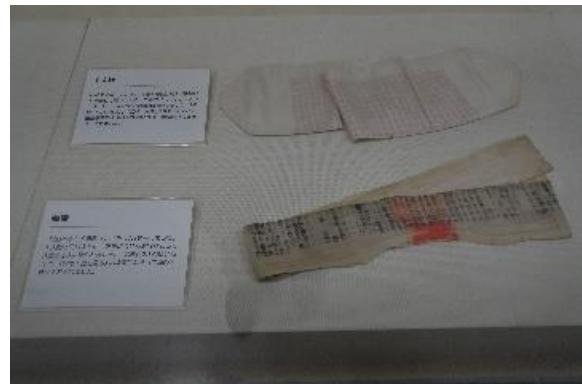
軍事郵便はがき 2

◇ゲートル

軍盃 19

◇出征祝のぼり

入営カラ除隊マデ軍隊生活(絵はがき)32



■戦時中の生活 ほか

資料 29 点

◇内務省推薦 防空絵とき 昭和 17 年 11 月

家庭用魚類購入票

灯火管制用電球 2

家庭用水産物購入通帳

防空頭巾

家庭用品購入通帳

◇防火弾

◇貯金箱「報国貯金」

砂弾

◇貯金箱「事変記念興亜奉公百億貯金」

京都新聞 昭和 20 年 6 月 6 日号

旧硬貨 五銭 2

◇生活必需品小売価格表

日本銀行券 拾銭

(京都府物価統制協力会議) 昭和 15 年

日本銀行兌換券 五円

家庭用塩購入票

日本銀行券 拾円

大日本帝国政府支那事変
行賞賜金国庫債券 参百円
割増金附特別報国債券 第四回 金壱円
◇包紙よして風呂敷活かしませう(ポスター)



◇旗は日の丸 値は丸公(ポスター)
◇公債(ポスター)
種甘譜を貯えよ(ポスター)
◇海軍志願兵徵募(ポスター)
輸出用皿 MADE IN OCCUPIED JAPAN3



■戦前～戦中の雑誌・紙芝居

資料 17 点

- ◇航空少年 2
昭和 18 年 9 月号 昭和 18 年 10 月号
- ◇海軍 2
昭和 19 年 5 月創刊号 昭和 19 年 7 月第 3 号
- ◇若桜 2
昭和 19 年 5 月創刊号 昭和 19 年 6 月第 2 号
- ◇コドモアサヒ
昭和 12 年 6 月号
- ◇週刊少国民 2
昭和 19 年 8 月 1 日号 昭和 19 年 12 月 19 日号
- ◇こども朝日 2
昭和 21 年 12 月 1 日号 昭和 22 年 8 月 1 日号
- ◇のらくろ軍曹 昭和 9 年
- ◇のらくろ決死隊長 昭和 13 年
- ◇タノシクアソベ少国民



- ◇村の飛行兵(紙芝居) 昭和 18 年 9 月
- ◇紙芝居実演講座
- ◇コドモ隣組 翼賛紙芝居物語



○パネル

宇治町青年農場にて 左奥に茶園	昭和 15 年 (1940)
宇治町青年団による軍用機献納資金募集活動	昭和 18 年 (1943) 頃
菟道国民学校の音楽隊	昭和 19 年 (1944)
小倉国民学校に入学しました	昭和 17 年 (1942)
宇治国民学校の卒業記念	昭和 19 年 (1944)
動員先の日本レイヨンにて 菊道国民学校高等科 2 年生	昭和 19 年 (1944)
内務省推薦 防空絵とき 5	昭和 17 年 (1942) 11 月

パネル 11 点

○映像資料

映像 1 点

◇宇治市戦争体験アーカイブ

- 第 1 回 長谷部松子氏「忘れられないあの光景」
- 第 2 回 中村健二氏 「シベリアでの体験」
- 第 3 回 岸本清三氏 「ある少年の戦中・戦後」
- 第 4 回 山崎彰氏 「語り継ぐ空襲の記憶」
- 第 5 回 山本明子氏 「アコの戦争」
- 第 6 回 吉田寿男氏 「記憶に残るあの日の情景」
- 第 7 回 湯川一子氏 「異国の地の生活と家族の絆」
- 第 8 回 中西昭子氏 「あの頃の記憶を紡ぎ繋いでいく」

制作：宇治市平和都市推進協議会

上映時間：約 125 分

企画展	黄檗山萬福寺 —普茶料理・豆腐羹—	令和6年9月14日～12月1日(65日間)
-----	----------------------	-----------------------

江戸時代初期、中国から来日した隱元は、宇治に黄檗山萬福寺を開創した。隱元とともに日本にもたらされたさまざまな文物は、美術、文学、食文化など、当時の日本に広く影響を及ぼした。普茶料理とは、隱元が日本に伝えた中国風の精進料理である。「普茶」とは「(寺院の)大衆に普く茶を供する」という意味の禅語に由来している。普茶料理の献立の中でも、「豆腐羹」は「黄檗豆腐」とも呼ばれ、普茶料理の特徴的な名物である。

本展では、「黄檗名物・豆腐羹」の製造用具や製法について紹介した。

[展示構成と展示資料]

資料 65 点 模型 18 点 パネル 17 点 映像資料 1 点

■黄檗山萬福寺と隱元禪師

- 黄檗山伽藍惣図
- 宇治黄檗山絵図
- 黄檗宗大本山萬福禪寺
- 黄檗山萬福寺縁起
- 山城国宇治黄檗山境内之図
- 宇治黄檗宗大本山萬福禪寺之景

資料 26 点 パネル 3 点

- 宇治之真景
- 都名所図会
- 黄檗山聯額集
- 黄檗山境内絵葉書 7(うち袋 1)
- 黄檗普茶記念絵葉書 7(うち袋 1)
- 黄檗山萬福寺パンフレット 3

○パネル

隱元禪師像(黄檗山萬福寺蔵・提供)、萬福寺境内図(黄檗山萬福寺蔵・提供)、大雄寶殿(黄檗山萬福寺提供)



■普茶料理

模型 18 点 パネル 2 点

○模型

隱元禪師と縁の深い食材 7 (黄檗山萬福寺蔵)

隱元豆(白花豆・紫花豆)	すいか	れんこん
さや隱元	たけのこ	寒天

普茶料理の菜单 11 (黄檗山萬福寺蔵)

麻腐(マフ)	雲片(ウンペン)	水果
浸菜(シャンツァイ)2	筍羹(擬き)	急須
筍羹(シュンカン)	飯子(ハンツウ)	
油茲(ユジ)	寿免(スメ)	

○パネル

典座の風景 2



■普茶料理と豆腐羹

資料 3 点 パネル 3 点

黄檗清規 (黄檗山萬福寺蔵)

松隱堂須知 (黄檗山天真院蔵)

黄檗山方丈内須知 (黄檗山萬福寺蔵)

○パネル

『普茶料理抄』より「普茶の図」のほか 2(京都大学付属図書館蔵 京都大学貴重書デジタルアーカイブ)

■豆腐羹製造工程

資料 36 点 模型 1 点 パネル 9 点 モニター 1 点

「豆腐羹」看板 2

豆腐羹製造用具 34

枠 2

濾し袋口固定用当て木

両手鍋

タライ 2

落とし蓋

豆腐羹乾燥用台

水差し容器

豆腐羹木型 4

豆腐羹用餅箱 2(うち蓋付き 1)

片手鍋

豆腐羹木型の台 3

大釜(蓋付き)

寸胴鍋

豆腐羹箱 4

竹の棒

しゃもじ 2

豆腐羹箱落とし蓋 2

石臼

豆汁(呉)絞り容器

醤油ビン(清水醤油醸造元提供)

流し台

○模型

豆腐羹

○パネル

豆腐羹の製造工程 9(黄檗山萬福寺提供)

○映像資料

豆腐羹ができるまで(黄檗山萬福寺提供／宇治市歴史資料館編集)

実演：松本老舗

撮影日：平成 26 年(2014)6 月 28 日

上映時間：約 25 分



ミニ展示	平安時代の遺構・遺物	令和6年10月1日～10月31日(27日間)
------	------------	------------------------

令和 6 年度の京都府南部地域ミュージアム連絡協議会合同事業「平安の文化へ」の関連展示として、宇治市域から出土した平安時代の遺物や関係する写真を展示した。

※京都府南部地域ミュージアム連絡協議会・・・平成 19 年 6 月設立。乙訓・山城地域の公立の資料館・美術館・博物館等の相互連携を密にするとともに、博物館活動の発展を図り、京都府の文化の向上に寄与することを目的とする。宇治市歴史資料館を含め、計 7 館で構成。

■展示資料一覧

資料 12 点 パネル 1 点

軒丸瓦 4	淨妙寺跡	平安時代
青白磁 3	淨妙寺跡	平安時代
緑釉陶器水注	淨妙寺跡	平安時代
青磁皿	淨妙寺跡	平安時代
土師器皿 3	淨妙寺跡	平安時代

○パネル

淨妙寺跡 平成 2 年度発掘調査地 航空写真(法華三昧堂跡)



企画展

ちょっと昔の街とくらし
おとぎ電車が走った頃

令和6年12月14日～
令和7年2月9日(45日間)
[臨時開館 1月13日]

昭和 25 年 (1950) から同 35 年まで、宇治川の渓谷を走っていた「おとぎ電車」。志津川発電所の上流すぐの地点（現天ヶ瀬ダムのあたり）から上流へ 3.6 km の距離を走った。宇治川の渓谷美を眺めながら進むおとぎ電車は多くの人びとに親しまれ、宇治川ライン観光の一翼を担っていた。

また、おとぎ電車が走り始めて間もない同 26 年には、2 町 3 村（宇治町、東宇治町、楳島村、小倉村、大久保村）が合併し、宇治市が誕生した。その後、昭和 30～40 年代には宇治市の人口が激増し、生活の中に電化製品が急速に普及するなど、宇治の街や人びとの暮らしが大きく変化した時代であった。

本展では、写真や当時の暮らしの道具などにより、おとぎ電車や昭和 20・30 年代の宇治の街を紹介した。

[展示構成と展示資料]

資料 96 点 パネル 43 点

◇印：個人蔵

■おとぎ電車開通

宇治・宇治川ラインパンフレット 11(うち複製 5)
毎日グラフ昭和 25 年 12 月 1 日号
宇治市政だより創刊号

資料 16 点 パネル 17 点

宇治橋擬宝珠 (昭和 26 年)
おとぎ電車模型 2 (バンビ号、むかで号)



○パネル

壁面写真パネル 4

おとぎ電車開通当初、昭和 28 年（1953）まで走っていた機関車 昭和 25 年（1950）頃

おとぎ電車を載せる沿線案内図

昭和 31 年（1956）

宇治川ライン廻遊コース案内

昭和 32 年（1957）

宇治市観光絵図（屏風）

昭和 31 年（1956）

A3 写真パネル 3

おとぎ電車開通を知らせる案内板

昭和 25 年（1950）頃

開通まもない頃 飾り気の無い機関車

昭和 30 年（1955）代

京阪電車宇治駅に宇治川ラインの案内看板

A4 写真パネル 10

宇治でおとぎ電車に乗りました

昭和 27 年（1952）

平等院通商店街

昭和 29 年（1954）

あがた祭でにぎわう宇治橋西詰

昭和 29 年（1954）

平等院で虫捕りをして遊ぶ子どもたち

昭和 30 年（1955）頃

宇治川畔でチャンバラごっこ

昭和 30 年（1955）

おとぎ電車・遊覧船を乗り継いで宇治川ラインを楽しみました 昭和 31 年（1956）

国道 24 号線（現府道城陽宇治線小倉西山交差点付近） 昭和 32 年（1957）

市営野球場 現在の市役所本庁舎のあたりにありました 昭和 32 年（1957）

宇治川水泳学園でにぎわう宇治川

昭和 33 年（1958）

遠足の子どもたちでにぎわう宇治川畔

昭和 34 年（1959）

■おとぎ電車と昭和 28 年災害

パネル 18 点

○パネル

壁面写真パネル 4

おとぎ電車運行ルート

昭和 29 年（1954）

機関車と客車にまたがる乗務員

※高橋弘氏撮影

宇治川の渓谷美を行くおとぎ電車

※高橋弘氏撮影

大峰堰堤を背にした「むかで号」

※高橋弘氏撮影

A3 写真パネル 4

旧型客車はバンビ号

新造タルゴ型客車のムカデ号

おとぎ電車タルゴ型客車の車内

単線のため、かならず列車の行き違いが見られた

※高橋弘氏撮影

A4 写真パネル 10

台風 13 号の被害	濁流に押し流されたおとぎ電車留置線	昭和 28 年(1953)
台風 13 号の被害	天ヶ瀬吊り橋	昭和 28 年(1953)
おとぎ電車乗降場		昭和 29 年(1954)
おとぎ電車引き上げ作業		昭和 29 年(1954)
台風 13 号の被害	巨椋神社前	昭和 28 年(1953)
台風 13 号の被害	小倉町西山より奈良線小倉駅をのぞむ	昭和 28 年(1953)
天ヶ瀬ダム竣工		昭和 39 年(1964)
ダム工事事務所設置		昭和 32 年(1957)
天ヶ瀬ダム湖		昭和 40 年(1965)
天ヶ瀬ダム湛水式		昭和 39 年(1964)

■昭和 20~30 年代の暮らしの道具

資料 60 点 パネル 8 点

テレビ	豆炭コタツ	魔法瓶
ラジオ 2	電気アンカ	保温ポット
扇風機 2	こたつ一式	暮らしの手帖 11
炊飯器	電気ストーブ 2	レコード 28
火鉢	ガスストーブ	ソノシート 4
やかん	電気ポット	

○パネル

壁面写真パネル 7

航空写真 広野	昭和 21 年(1946)
航空写真 宇治	昭和 23 年(1948)
宇治川鉄橋上空から市街地をのぞむ	昭和 35 年(1960)
ナショナル 電気製品カタログ 4	昭和 31 年(1956)

A1 写真パネル 1

ナショナル 電気製品カタログ

昭和 31 年(1956)



■今から 20 年前…平成 16 年(2004)頃のもの・こと

資料 20 点

◇ゲーム機一式

◇ゲームソフト 6

◇ゲームソフト取扱説明書 2

◇携帯ゲーム機 2
◇C D2

◇映画パンフレット
市政だより 2

新聞記事 4

企画展	発掘ものがたり宇治・2025	令和7年2月22日～4月20日(48日間)
-----	----------------	-----------------------

旧石器時代から江戸時代まで、各時代を特徴づける発掘出土品で通観する。また、近年の発掘調査により出土した遺物や関係する写真などで宇治の歴史を紹介した。

共催：宇治市歴史まちづくり推進課

[展示構成と展示資料]

資料 161 点 パネル 12 点

■ウジのハンター 資料 4 点 パネル 1 点

やり先	乙方遺跡	旧石器時代
剥片 2	二子塚古墳下層	旧石器時代
ナイフ型石器	二子塚古墳下層	旧石器時代

○パネル

古代宇治の主要遺跡

■ウジの縄文時代 資料 16 点 パネル 1 点

縄文土器 2(浅鉢 深鉢)	寺界道遺跡	縄文時代晚期
石斧	寺界道遺跡	縄文時代晚期
すり石	寺界道遺跡	縄文時代晚期
石の矢じり 12	寺界道遺跡	縄文時代晚期

○パネル

寺界道の縄文集落(イメージ図) 早川和子作画

■ウジの弥生時代 資料 6 点 パネル 1 点

石皿	乙方遺跡	弥生時代中期
弥生土器 壺 3	乙方遺跡	弥生時代中期
弥生土器 甕 2	乙方遺跡	弥生時代中期



○パネル

乙方の弥生集落(イメージ図) 早川和子作画

■ウジの古墳時代

韓式土器 3	宇治市街遺跡(妙楽)
土師器 4	宇治市街遺跡(妙楽)
須恵器 4	宇治市街遺跡(妙楽)

資料 11 点 パネル 1 点

古墳時代中期
古墳時代中期
古墳時代中期

○パネル

菟道門ノ前古墳(イメージ図) 早川和子作画

■ウジの埴輪

円筒埴輪	二子山古墳
家形埴輪	庵寺山古墳
人形埴輪	門ノ前古墳
犬形埴輪	門ノ前古墳

資料 4 点 パネル 1 点

古墳時代中期
古墳時代前期
古墳時代後期
古墳時代後期

○パネル

二子山古墳(イメージ図) 早川和子作画



■古墳人と装身具

臼玉 2	二子山古墳	古墳時代中期
ガラス小玉	二子山古墳	古墳時代中期
勾玉 管玉 2	二子山古墳	古墳時代中期
勾玉 管玉 臼玉	若林遺跡	古墳時代中期
金銅製玉杖 2	瓦塚古墳	古墳時代中期
ガラス小玉	瓦塚古墳	古墳時代中期

資料 9 点

■古墳人と銅鏡

銅鏡(倭製四葉文鏡)	二子山古墳	古墳時代中期
銅鏡(倭製神獸鏡)	二子山古墳	古墳時代中期
銅鏡(倭製神獸鏡)	庵寺山古墳	古墳時代前期
三環鈴	二子山古墳	古墳時代中期

資料 4 点

■古墳人と武器・工具

甲冑	二子山古墳	古墳時代中期
----	-------	--------

資料 41 点

刀剣 2	二子山古墳	古墳時代中期
鎌 2	二子山古墳	古墳時代中期
斧 13	二子山古墳	古墳時代中期
鉄の矢じり 23	二子山古墳	古墳時代中期



■ウジの飛鳥・奈良時代

資料 19 点 パネル 2 点

軒丸瓦	史跡隼上り瓦窯跡	飛鳥時代
軒丸瓦 2	岡本廃寺	奈良時代
軒丸瓦	太鳳寺跡	奈良時代
軒平瓦	太鳳寺跡	奈良時代
樋先瓦	岡本廃寺	奈良時代
円面硯 2	広野廃寺	奈良時代
水滴	広野廃寺	奈良時代
須恵器(杯 盖 壺)7	広野廃寺	奈良時代
土師器(甕 皿)3	広野廃寺	奈良時代

○パネル

隼上り瓦窯(イメージ図) 早川和子作画
岡本廃寺(イメージ図) 早川和子作画

■宇治の平安時代

資料 12 点 パネル 1 点

灰釉陶器(高杯)	史跡隼上り瓦窯跡	平安時代
灰釉陶器(碗)	太鳳寺跡	平安時代
灰釉陶器(碗)	史跡隼上り瓦窯跡	平安時代
カワラケ 9	宇治市街遺跡(妙楽)	平安時代後期

○パネル

淨妙寺(イメージ図) 早川和子作画

■平安の祈り 平等院

資料 4 点 パネル 1 点

軒丸瓦 2	平等院旧境内遺跡	平安時代
軒平瓦 2	平等院旧境内遺跡	平安時代

○パネル
鳳凰堂と小御所

■白川金色院と経塚

資料 6 点 パネル 1 点

鏡 2	白川金色院経塚	平安時代後期
瓦経	白川金色院跡塚	平安時代後期
青白磁(子持ち合子)	白川金色院経塚	平安時代後期
青白磁(合子)	白川金色院経塚	平安時代後期
青白磁(小壺)	白川金色院経塚	平安時代後期

○パネル
白川金色院文殊堂(イメージ図) 早川和子作画

■宇治の鎌倉・室町時代

資料 13 点 パネル 1 点

青磁(碗)	西隼上り遺跡	鎌倉時代
青磁(碗)	西浦遺跡	鎌倉時代
土師器(鍋)	宇治市街遺跡(妙楽)	鎌倉時代
土師器(大鉢)	西浦遺跡	鎌倉時代
黒色土器(碗)2	史跡隼上り瓦窯跡	平安時代
土師器(皿)2	宇治市街遺跡(妙楽)	鎌倉時代
瓦器(碗)3	宇治市街遺跡(妙楽)	鎌倉時代
中世陶器(すり鉢・信楽)	宇治市街遺跡(壺番)	鎌倉～室町時代
中世陶器(鉢・備前)	宇治市街遺跡(壺番)	鎌倉～室町時代

○パネル
西浦遺跡

■宇治の江戸時代

資料 8 点 パネル 1 点

志野向付	宇治市街遺跡(妙楽)	江戸時代
織部茶碗	宇治市街遺跡(壺番)	江戸時代
朝鮮唐津皿	宇治市街遺跡(妙楽)	江戸時代
塩つぼ	宇治市街遺跡(妙楽)	江戸時代
中国青磁皿	宇治市街遺跡(妙楽)	江戸時代
中国染付碗	宇治市街遺跡(妙楽)	江戸時代
唐津茶碗	宇治市街遺跡(妙楽)	江戸時代
唐津小皿	宇治市街遺跡(妙楽)	江戸時代

○パネル
宇治市街遺跡の油屋(イメージ図) 早川和子作画

■二子山古墳を記録する

資料 4 点

二子山古墳発掘調査作業日誌	二子山古墳	昭和 43 年(1968)
調査ノート	二子山古墳	昭和 43 年(1968)
二子山古墳測量図	二子山古墳	昭和 43 年(1968)
スクラップブック	二子山古墳	昭和 40 年(1965)頃

宇治川は、市域の東部にある笠取、志津川、白川などの山間部から、市域の中央にある木幡、五ヶ庄、中宇治、楳島などの平野部をとおり、西部の小倉、伊勢田とかつて接していた巨椋池に流れていた。山間部では、製茶をはじめ、薪炭類を産物とした生業を営み、平野部においても、稻作や畠作のほか、製茶を兼ねていた。そして、巨椋池に接していた地域では、漁労を兼ねた生業を行っていた。このように宇治市は、同一市域内にあって、山間、平野、水辺の生活が営まれていたという特徴を有している。

この「山間、平野、水辺」の三つの空間を柱に、多様な環境で生活してきた人々の営みに焦点をあてた常設展を令和3年6月から開設している。

[展示構成と展示資料]

資料 57 点 パネル 22 点

■宇治市ができるまで

オイトリガマ(覆取鎌)3

ドジョウモンドリ

資料 6 点 パネル 5 点

タゲタ(田下駄)2

○パネル

宇治市ができるまで

東笠取・西笠取・池尾の風景

志津川・白川の風景

木幡・五ヶ庄・菟道・楳島の風景

楳島・小倉・安田・大久保の風景



■宇治の茶づくり

チャツミフダ(茶摘み札)一式

木箱(茶摘み札入れ)

ケンズイオケ(間水桶)

チャダル(茶樽)

セイロ(蒸籠)

セイロノフタ(蒸籠の蓋)

セイロノハシ(蒸籠の箸)

ミズオケ(水桶)

サマシカゴ(冷まし籠)

ボテ 3

ヨリイタ(撰り板)

ヨリイタの支え箱

チャヨリバシ(茶撰箸)

ミ(箕)2

資料 27 点 パネル 6 点

トオシ(篩)2

チャビツ(茶櫃)4

マエカケ(前掛け)

チャツミカゴ(茶摘み籠)2

アナツキ(穴突き)

○パネル

覆下茶園での茶摘み

宇治の製茶図 5

茶摘み、蒸し、乾燥、精撰、茶の梱包と発送

公益社団法人京都府茶業会議所蔵

■巨椋池の漁業

資料 15 点 パネル 6 点

トアミ(投網)

ユオケ(魚桶)

アンモンドリ ※復元

ウグイ ※復元

ス(簍)

ダマル 2

マエガキ

ジョウダテモンドリ

サデアミ(叉手網)

ジャコイカキ ※復元

ウナギモンドリ ※復元

タモ(攢網)

ビンモンドリ 2

○パネル

投網を打つ

昭和初期

個人蔵

干拓直前の巨椋池

昭和 7 年(1932)頃

巨椋池土地改良区蔵

マキ網漁の風景/マキ網とタモ/コイやフナを

昭和初期

個人蔵

ユオケに移す/漁業の拠点となった「事務所」

昭和初期

個人蔵

エリ漁の風景

昭和初期

個人蔵

浸木漁の風景/竹で簍を編んでいる様子/巨椋

昭和初期

個人蔵

池にかかる虹/出漁前の準備風景

昭和初期

個人蔵

浸木漁の風景

昭和初期

個人蔵



資料 9 点 パネル 5 点

タウエワク(田植枠)2

センバ(千齒)

トウミ(唐簍)

マグワ(馬鍬)

スイシャ(水車)

クサトリキ(草取機)2

タブネ(田舟)

○パネル

馬鍬で代かき

昭和 29 年(1954)頃

干拓田での田植え

昭和 29 年(1954)頃

巨椋池干拓田

昭和 29 年(1954)頃

干拓田での稲刈り

昭和 27 年(1952)頃

脱穀の作業

ロビー展

祭り調査報告2024
西笠取・東笠取の秋祭り

令和6年5月1日～7月21日

本ロビー展では、昨年に引き続き市内で行われている祭礼の調査報告として、西笠取の秋祭りの写真9点、東笠取の秋祭りの写真8点、東笠取清瀧宮の鳥居の通り初め式の写真3点に解説を付したパネルを展示了。

市の北東部にある西笠取と東笠取では、毎年11月3日に秋祭りが行われる。西笠取の清瀧宮、東笠取の清瀧宮にそれぞれの地域の氏子が参列をする。

秋祭りとは、秋の収穫を氏神に感謝する祭りで、春に行われる穀物の豊作を祈念する春祭りと対になっていることが多い。ともに氏神へ米、神酒、山のもの、海のもの等をお供えし、氏子参列のもと神職が神事を執り行う。



西笠取の清瀧宮で行われる秋祭り



東笠取の清瀧宮で行われる秋祭り

ロビー展

宇治市文化センター
40周年記念写真展

令和6年7月24日～12月8日

昭和59年(1984)10月28日、宇治市文化センターが、文化会館・中央図書館・中央公民館・歴史資料館からなる複合施設としてオープンし、今年で開館40周年を迎えた。

開館40周年を記念して、宇治市広報担当課が昭和26年より撮影した写真の中から、文化センターが開館し、歩みはじめたころを61点の写真で紹介した。



ロビー展

祭り調査報告2024
巨椋神社の秋祭り

令和6年12月12日～令和7年4月19日

令和6年5～7月に実施したロビー展と同様に、市内で行われている祭礼の調査報告として、小倉町の巨椋神社の秋祭りを取り上げた。祭礼の写真18点に解説を付したパネルを展示した。

巨椋神社の秋祭りは、大和街道沿いの集落の氏子を中心として行われている。期間はご祭神が本社から神輿に移る10月1日から、以前は体育の日の10日までであったが、祝日の移動に伴って現在はスポーツの日（10月第2月曜日）の本祭までとなっている。

現在、10日までの直近の土曜日にお鏡を作り、しめ縄を縊い、翌日の日曜日にご祭神に神饌を供える御膳祭が行われる。そしてスポーツの日の本祭では多くの人が集まり、神輿の渡御が行われる。



神社の当番である宮係が右肩の上に御膳の
木箱を持ち、列をなして運ぶ



大人の神輿渡御が集落を練り歩く

ロビー展

第23回写真展
なつかしの街角・思い出の一枚

令和6年12月12日～令和7年4月19日

宇治市歴史資料館では、平成14年(2002)から市民参加型事業として、写真展「なつかしの街角・思い出の一枚」を開催し、今回の開催で延べ246の方にご協力いただいている。

昭和59年(1984)に宇治市文化センターがオープンし、今年で開館40周年を迎えたことを記念して、市民の皆様に提供いただいた写真の中から、文化センターが開館し、歩みはじめたころ紹介した。



昭和56年(1981)宇治市市民文化センター建設予定地



昭和57年(1982)折居台で犬のお散歩

教育・普及事業

■歴史講座

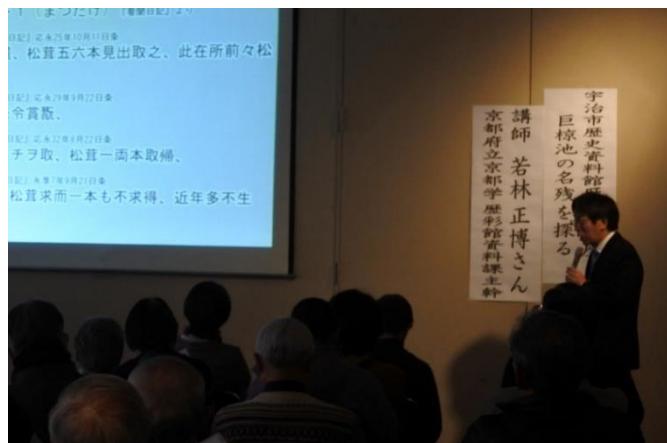
回数	日時・会場	演題	講師	参加者数
第102回	令和7年1月16日 10:00 宇治市源氏物語 ミュージアム	ご隠居さん、きょうをいく 第1回 江戸時代の出版と学び	宇治市博物館管理課 企画学芸係長 坪内淳仁	15
第103回	令和7年1月30日 10:00 宇治市源氏物語 ミュージアム	ご隠居さん、きょうをいく 第2回 人々の文化享受と交流	宇治市博物館管理課 企画学芸係長 坪内淳仁	14
第104回	令和7年2月25日 14:00 宇治市中央公民館	巨椋池の名残を探る	京都府立京都学・歴彩館 資料課主幹 若林正博氏	80



第 102 回



第 103 回



第 104 回

■その他の普及事業

日時・会場	演題	講師	参加者数
令和7年3月1日 10:00、13:30 宇治市中央公民館	勾玉をつくろう！	宇治市博物館管理課 職員 藤岡琢矢	20



宇治市中央公民館にて 勾玉づくりの様子

■京都文教大学サテライトキャンパス宇治橋通り展示

テーマ	期間
パネル展示 宇治の碑 －JR木幡駅から六地蔵への碑を巡る－ (主催：一般財団法人宇治市文化財愛護協会) 【協力】	令和6年11月13日～12月1日

■他の出前展示

会場	テーマ	期間
宇治市文化センター エントランスロビー	宇治市文化会館40周年記念写真展 なつかしの街角 思い出の一枚 －昭和30年～昭和60年頃の宇治－ 【協力】	令和6年6月1日～6月16日
東宇治図書館	写真展 なつかしの街角 思い出の一枚【共催】	令和6年11月1日～11月29日
武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園	巨椋池に住む生き物と 周辺の人々の暮らし【協力】	令和6年11月3日
西宇治図書館	小さなアートギャラリー －今年は昭和100年です！－ 【共催】	令和7年1月15日～2月16日



宇治市文化センター エントランスロビーにて
宇治市文化会館40周年記念写真展



武田薬品工業 京都薬用植物園にて
「巨椋池に住む生き物と周辺の人々の暮らし」
ギャラリートークの様子

■施設見学・出前授業

学校行事としての施設見学を受け入れるほか、平成 23 年度より職員が当館所蔵の資料を持参して市内小学校に出向き、歴史資料を活用した出前授業を行っている。授業テーマは、小学生の学習課程にあわせ、「むかしのお茶づくり」（対象：3・4 年生）、「巨椋池と水辺に暮らす人びと」（対象：4 年生）、「くらしの道具 今とむかし」（対象：3 年生）がある。令和 6 年度は、小学生に対し、施設見学で 2 校 4 クラス、出前授業で 13 校 32 クラスに実施した。

テーマ	実施日	学校名	学年	クラス数	
施設見学	令和 6 年 6 月 13 日	菟道第二小学校	2	3	
	令和 7 年 2 月 27 日	笠取第二小学校	3、4	1	
出前授業	巨椋池と水辺に暮らす人びと	令和 6 年 9 月 20 日	伊勢田小学校	4	2
	くらしの道具 今とむかし	令和 6 年 9 月 27 日	木幡小学校	4	4
		令和 7 年 1 月 21 日	平盛小学校	3	1
		令和 7 年 1 月 24 日	笠取第二小学校	3、4	1
		令和 7 年 1 月 29 日	西小倉小学校	3	2
		令和 7 年 1 月 31 日	菟道第二小学校	3	3
		令和 7 年 2 月 4 日	樋島小学校	3	3
		令和 7 年 2 月 5 日	大開小学校	3	2
		令和 7 年 2 月 7 日	西大久保小学校	3	2
		令和 7 年 2 月 12 日	岡屋小学校	3	2
		令和 7 年 2 月 13 日	御藏山小学校	3	3
		令和 7 年 2 月 19 日	小倉小学校	3	3
		令和 7 年 3 月 6 日	宇治小学校	3	4

○上記以外の学校等の施設見学

令和 6 年 9 月 1 日 NPO 法人京都子どもセンター 施設見学 高校生以下 8 人

令和 6 年 9 月 24 日 開智日本橋学園中学校 3 年 探求活動 5 人

令和 6 年 11 月 16 日 善法青少年センター 施設見学 親子 4 組

■博物館実習

当館では、博物館法第 5 条に基づく学芸員資格取得課程を設置する大学からの依頼により、実習生の受け入れを行っている。受け入れに当たっては、体制・施設面の制約から、下記の条件を課している。

- (1) 対象 市内在住もしくは帰省先を有する学生。ただし、周辺に類似施設を有する市町村が少ないため、当面の間、周辺市町村に在住もしくは帰省先を有する学生についても、可能な範囲で受け入れるものとする。
- (2) 人数 各大学 3 名以内とする。
- (3) 日数ならびに期日 日数は 4 日間または 5 日間、期日については当館が指示する。
- (4) その他 大学の発行する学術雑誌など刊行物（日本史・日本文学・地理学・民俗学など広く日本文化に関わる内容を含むもの）を寄贈すること。

令和 6 年度受入校（順不同）

京都女子大学 2、龍谷大学 3、佛教大学 1、京都文教大学 1、奈良大学 2、大阪国際大学 1
(合計 10 人)

出版事業

展示解説書	京の夕顔・江戸の朝顔 －『修紫田舎源氏』の錦絵から－	令和7年3月31日発行	A4・13頁
-------	-------------------------------	-------------	--------

〔執筆〕家塚智子（宇治市歴史資料館館長・宇治市源氏物語ミュージアム館長）

収蔵資料 調査報告書27	巨椋池等の漁労用具・関係資料	令和7年3月30日発行	B5・48頁
-----------------	----------------	-------------	--------

〔執筆〕奥村晃代・大塚朋世（宇治市歴史資料館職員）



保存事業

■燻蒸

新規受入資料等の殺菌・殺虫・殺卵を目的に、被覆燻蒸法により 24 時間燻蒸を実施した。使用薬剤はエキヒューム S (酸化エチレン) である。

実施期間 令和 6 年 10 月 2 日～5 日

■モニタリングトラップ調査

収蔵庫・特別収蔵庫内 20 か所において年間 12 回、原則として 1 か月単位でモニタリングトラップによる害虫調査を実施した。

■収蔵環境整備

モニタリングトラップ調査の結果報告をふまえ、収蔵庫・特別収蔵庫および隣接する前室・荷解室を中心に、清掃や資料点検を 15 回実施し、収蔵環境の維持に努めた。

所蔵資料の概要 (令和7年3月末現在)

■歴史資料 (歴史資料館管理)

分類	件数
歴史	1,492
古文書	42
行政	194
一枚刷り	42
写真	53
絵はがき	380
ポスター・チラシ・パンフレット	182
戦争	67
歴史	532
地理	173
絵図	71
地図	102
民俗	278
考古	4
美術	136
書籍	531
合計	2,614

指定・登録文化財	
国登録有形民俗文化財	宇治茶の生産・販売用具 397点 (生産用具286点・販売用具111点)
京都府暫定登録文化財	宇治の製茶関連用具 348点
・宇治市指定文化財	宇治郷総絵図 1舗
・宇治市指定文化財	宇治橋銅擬宝珠 1口

このほか、当館の前身である市史編纂室から引き継いだ古文書などの写真版・フィルム、新聞・史料カード類、展覧会など事業にともなって撮影した写真・データ類を保管している。

左表の資料については、順次デジタル化をはかり、利用者の閲覧に提供している。

国登録有形民俗文化財「宇治茶の生産・販売用具」

登録年月日：令和4年3月23日

名 称：宇治茶の生産・販売用具

員 数：397点(生産用具 286点・販売用具 111点)

所 有 者：宇治市(宇治市歴史資料館 保管)

概 要：宇治市の歴史、文化を語るうえで、宇治茶の存在は欠かすことができない。この地では、古くから茶の栽培から製茶、販売に至るまで一貫して行われてきた。大正から昭和前期にかけて、製茶工程の機械化が進んだが、高級茶の産地である宇治では繊細な作業が求められ、最後は人の手にゆだねるところが多く、これら用具類が大切に保管してきた。

宇治市歴史資料館は、昭和59年(1984)の開館以来、宇治茶関係資料の収集に努めてきた。製茶に関する道具類の調査・研究成果については、収蔵資料調査報告書19「宇治茶の民具」で公開している。

生産用具は、茶の栽培をはじめ、茶摘み、蒸し、乾燥、撰別、出荷、保存に使用した用具類である。

なかでも茶摘み札は、摘み子が摘んだ茶葉の重さを計測するたびに受け取るもので、のちに精算して賃金が支払われるといった、実相を具体的にしめす資料である。販売用具としては、竿秤や茶銘の印判などがある。



■埋蔵文化財（歴史まちづくり推進課文化財保護係管理）

指定・登録文化財 6 件

京都府指定文化財 二子山古墳出土品	一括
京都府指定文化財 白川金色院経塚遺物	61 点
京都府暫定登録文化財 善法古墓出土品	一括
宇治市指定文化財 伊勢田塚陶棺	1 基
宇治市指定文化財 隼上り瓦窯出土遺物	一括
宇治市指定文化財 瓦塚古墳出土遺物	一括

このほか、主な出土資料、文化財や発掘調査に関わる写真・フィルム・図面などを保管している。

受贈図書 (敬称略・書名一部略)

■宮城県

東北大学大学院文学研究科美術史学講座 美術
史学 45

■茨城県

筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院
歴史人類 53

■栃木県

栃木県立博物館 研究紀要－人文－41

■千葉県

国立歴史民俗博物館 令和 6 年度版要覧/資料図
録 13/REKIHAku 特集 3D からみえる研究/
REKIHAku 特集 蔵書をヒラク/REKIHAku 特集 カ
メラ越しの世界/歴史の未来－過去を伝えるひ
と・もの・データー/歴博色尽くし

市立市川歴史博物館 令和 5 年度館報

野田市 市史研究 34

■東京都

葛飾区郷土と天文の博物館 徳川三代と青戸御
殿

東京大学史料編纂所 所報 59/研究紀要 34/画像
史料解析センター通信 104～106

東京都江戸東京博物館 紀要 15

徳川林政史研究所 金鯱叢書 51

豊島区立郷土資料館 生活と文化 34/新・豊島風
土記

府中市郷土の森博物館 紀要 37

吉村昭記念文学館 幕末のドラマ 吉村昭が描く
「桜田門外ノ変」

■神奈川県

神奈川大学日本常民文化研究所 歴史と民俗

41/民具マンスリー 673～684

寒川文書館 町史研究 36

平塚市博物館 年報 47/自然と文化 47/ひらつか
の古道を行く

■石川県

金沢大学 古代文明・文化資源学研究所 国家形
成期の近畿地方における馬と塩の関係に関する
基礎的研究/国家形成期の手工業生産と家畜利用

■福井県

坂井市龍翔博物館 丸岡藩誕生 400 年記念 お天
守ヒストリー

■愛知県

一宮市博物館 真清田神社/禅僧の書/妙興寺文
書の世界/くらしの道具～ハレの日いろいろ～/
くらしの道具 これな～んだ？/没後 50 年郷土史
家森徳一郎 浅野研究から一宮市史へ/くらしの
道具 妖怪ぞろぞろ/「くらしの道具」展示解説書
たんけんブック/尾張の文人画 森コレクション
を中心/版画芸術 棟方志功を中心/戦時下の
一宮/一宮の文化財ガイドマップ

名古屋市博物館 研究紀要 47

南山大学人類学博物館 紀要 43

■三重県

式年遷宮記念 神宮美術館 式年遷宮と日本伝統
工芸－不変のフォームと古からのアート－

■滋賀県

大津市歴史博物館 近江堅田 本福寺/写真展 50
年前の琵琶湖・堅田一大西艸人がみた自然と営み
－源氏物語と大津/京極高次/石山寺－密教と観

音の聖地－
甲賀市教育委員会 甲賀市文化財報告書 44
滋賀県立安土城考古博物館 令和 5 年度年報/紀要 31/馬でひも解く近江の歴史/近江の文化財を継ぐ－修理・複製・復元－/稀品・逸品－滋賀県出土の指定文化財を中心に－
滋賀県立大学学芸員課程 報告書 26/報告書 27
滋賀県立大学人間文化学部 人間文化 56～58
滋賀県立琵琶湖文化館 研究紀要 41
彦根城博物館 青根九江－京で花開いた彦根の文人画家－/井伊直興と永源寺南嶺慧詢
野洲市歴史民俗博物館 研究紀要 28/研究紀要 29
栗東歴史民俗博物館 紀要 30

■京都府

宇治山宣会 山宣 30/山宣 30 別冊
ウトロ平和祈念館 ウトロに生きた人々
鷹陵史学会 鷹陵史学 50
大谷大学博物館 美と用の煌めき－東本願寺旧蔵とゆかりの品々－
表千家同門会 同門 633～644
表千家不審菴文庫 茶の湯研究 和比 15
亀岡市文化資料館 館報 14/資料調査報告書 1/丹波路の車窓から－老ノ坂と保津峡の近代－
京田辺市役所市史編さん室 京田辺市史資料編 5 地理・民俗
京都国立博物館 学叢 46/社寺調査報告 33
京都産業大学ギャラリー 源氏物語の世界－よむ・みる・あそぶ－
京都市学校歴史博物館 年報 25・研究紀要 11
京都女子大学宗教・文化研究所 研究紀要 38
京都女子大学博物館学芸員課程 博物館学年報 30
京都市歴史資料館 紀要 30/京都と源氏物語～受け継がれし物語～
京都先端科学大学 2023 年度 亀岡祭報告書
京都大学総合博物館 年報令和 5 年度/比叡山麓の縄文世界
京都府教育庁指導部文化財保護課 京都府埋蔵文化財調査報告書令和 5 年度/京都府埋蔵文化財調査報告書令和 6 年度/京都府歴史の道調査報告書 3/京都府歴史の道調査報告書 4/冴山 1 号墳発掘調査報告書/寺浦遺跡・薬師遺跡発掘調査報告書/恭仁京跡発掘調査報告書Ⅲ 第 1 分冊(本文編)/恭仁京跡発掘調査報告書Ⅲ 第 2 分冊(分析・考察・図版編)
京都府神社庁船井支部 船井神社誌
京都府農林水産部農産課 令和 5 年度京都府宇治茶に関する古文書調査 新聞『山城』茶業関連記事調査報告書
京都府埋蔵文化財調査研究センター 京都府埋

蔵文化財情報 147/京都府埋蔵文化財情報 148
京都府立京都学・歴彩館 紀要 8/令和 5 年度京都府域の文化資源に関する共同研究会報告書(洛南編) /京都を学ぶ[洛南編]－文化資源を発掘する－
京都府立大学文学部歴史学科 フィールド調査集報 10/文化遺産叢書 27～31
京都府立山城郷土資料館 南山城の戦国時代
京都文化博物館 朱雀 36
清水寺 成就院日記 8
高麗美術館 館報 128～130
国宝修理装潢師連盟 令和 5 年度国宝修理装潢師連盟 第 27 回定期研修会報告集
城陽市歴史民俗資料館 こどものおもちゃのむかしといま/正道官衙遺跡と奈良時代の役所
世界人権問題研究センター 研究紀要 29/グローブ 117～120/三十年史
全日本煎茶道連盟 煎茶道 800～811
淡交社 淡交 971～983
知恩院史料編纂所 知恩院史料集 日鑑篇 36
同志社大学人文科学研究所 研究所報 59/人文研ブックレット 82
同志社大学博物館学芸員課程 博物館学年報 55
南丹市立文化博物館 井上堰水ものがたり こころのゆくへ/大塚春嶺展/麻田辨自展 花鳥の華やかさと風景の静けさ
野村美術館 研究紀要 34
平等院 凤翔学叢 20
佛教大学 歴史学部論集 15
佛教大学総合研究所 研究紀要 31/研究紀要 32/共同研究成果報告論文集 12～14
本願寺史料研究所 所報 67・68/本願寺史 4
向日市文化資料館 扁額・古文書・檀林関係資料/中世の乙訓・西岡と物集女城－古文書が語る歴史－/物集女城跡国史跡記念シンポジウム報告資料集
八幡市教育委員会 埋蔵文化財発掘調査報告 73/埋蔵文化財発掘調査報告 74
洛北史学会 洛北史学 26
立命館大学国際平和ミュージアム 立命館平和研究 25/立命館平和研究別冊 2
立命館大学人文学会 立命館文学 687～691

■大阪府

池田市立歴史民俗資料館 開校 150 周年！池田の小学校
泉佐野市立歴史館いずみさの 教科書からたどる教育の歴－明治・大正そして昭和へ－/長滝庄
茨木市立文化財資料館 館報 10
大阪狭山市教育委員会 狹山池シンポジウム 2022/狭山池シンポジウム 2023
大阪城天守閣 紀要 48/徳川時代大坂城関係史料

集 24/上方役者絵にみる歴史劇/大坂城再築
大阪市立住まいのミュージアム 研究紀要・館報
22
大阪府立狭山池博物館 研究報告 14/交差する技術—朝鮮半島系土器の受容と古代工人の技術交流—
大阪歴史博物館 年報令和 5 年度
柏原市立歴史資料館 館報 35/館報 36/古文書調査報告書 18/柏原の歴史 3/玉手山安福寺と徳川家—ある奇縁—/古墳から古代へ/江戸時代の列島改造と国分村—稻垣重綱没後 370 年—
国立民族学博物館 日本の仮面—芸能と祭りの世界/吟遊詩人の世界/民具のミカタ博覧会—見つけて、みつめて、知恵の素—
吹田市立博物館 館報 24/繁栄した湾口の湊津—垂水遺跡群からよみとく—/紙芝居の歴史と阪本一房
太子町立竹内街道歴史資料館 館報 26
高槻市立今城塚古代歴史館 大王墓 今城塚古墳の実像
高槻市立しろあと歴史館 文化財調査報告書 44
枚方市文化財課市史資料室 市史年報 26/楽しく学ぶ枚方の歴史
八尾市立歴史民俗資料館 館報 (令和 5 年度)・研究紀要 35/筒描藍染めの婚礼布団

■兵庫県

明石市立文化博物館 くらしのうつりかわり展
～多聞新八がえがいた昔の明石～
伊丹市文化振興課 地域研究いたみ 54
黒川古文化研究所 古文化研究 23/研究図録シリーズ 10
豊岡市立歴史博物館 館報 (2022 年度)
兵庫県立考古博物館 研究紀要 17/研究紀要 18/動物と考古学—愛でる、使う、食べる—/うつりゆく甲と冑—弥生から江戸へ—
兵庫県立美術館 令和 4 年度年報/令和 5 年度年報/研究紀要 18
兵庫県立歴史博物館 館報 令和 4 年度(2022)/館報 令和 5 年度(2023)/塵芥 35/HISTORY OF MUSEUM/ひょうご五国のあゆみ 展示案内 ver. 2/古銭・古札を楽しむ—館蔵・寄託のコレクションから—

■奈良県

香芝市二上山博物館 鑄物師の里 五位堂 藤原定次—津田家の新発見資料から—/古代交通の要衝—二上山の諸峠を越えて—/金剛砂王 安川亀太郎の功績—金剛砂産業の近代化への歩み—/石器のふるさと—二上山北麓遺跡群とその周辺の遺跡—
桜井市教育委員会 50 cm 下の桜井/教科書の弥生

時代を掘り下げる—桜井市内出土資料をもとに—/実はこんなものがあります～学芸員のおすすめしたい遺物たち～

帝塚山大学附属博物館 館報 XIX

天理大学附属天理参考館 館報 37

奈良女子大学史学会 寧楽史苑 70

奈良大学史学会 奈良史学 41

奈良大学博物館 太田古朴が見た山里の文化財—高野山麓・細川八坂神社の仮面群—/源氏物語図屏風の世界/朝来経塚郡—祈りの考古学—

奈良文化財研究所 第 26 回古代官衙・集落研究会報告書/万葉挽歌—人形からみる古の奈良—/聖武天皇が即位したとき。—聖武天皇即位 1300 年記念—

■和歌山県

和歌山県立紀伊風土記の丘 年報 50 研究紀要 12/数多の古墳を築く一群集墳からよむ古墳時代—

和歌山県立博物館 紀州東照宮の宝刀/聖地巡礼—熊野と高野—第 I 期/聖地巡礼—熊野と高野—第 II 期/聖地巡礼—熊野と高野—第 III 期/聖地巡礼—熊野と高野—第 IV 期/聖地巡礼—熊野と高野—第 V 期

和歌山市立博物館 聖武天皇と紀伊国—旅するひと・もの—

■岡山県

津山郷土博物館 年報令和 5 年度/紀要 36/市史研究 9/考古資料は語る！—美作津山の古墳文化—

■山口県

山口県文書館 研究紀要 51

■徳島県

徳島市立徳島城博物館 年報 32 (令和 5 年度) / 徳島歴史玉手箱/描かれた紫式部と源氏物語/松浦武四郎の遍路—北海道人、四国を旅する—

■香川県

香川県立ミュージアム 調査研究報告 15/収蔵資料目録 14

■高知県

高知県立高知城歴史博物館 年報 8

高知県立歴史民俗資料館 年報 33

■福岡県

九州大学附属図書館付設記録資料館 九州文化史研究所紀要 67

利用状況

■企画展入館者数

展覧会名	会期（日数）	入館者数
宇治茶 名所絵から製茶図まで	令和6年5月11日～6月23日(38日間)	1,311
戦争遺品展 戦時中のくらし	令和6年7月6日～9月1日(49日間)	2,478
黄檗山萬福寺 －普茶料理・豆腐羹－	令和6年9月14日～12月1日(65日間)	2,095
ちょっと昔の街とくらし おとぎ電車が走った頃	令和6年12月14日～令和7年2月9日(45日間) ※臨時開館 1月13日(月祝)	1,460
発掘ものがたり宇治・2025	令和7年2月22日～4月20日(48日間)	1,032
計		8,376

■レファレンス

R6年度 月	開館日数	件数	分類			方法			
			質問	調査	相談	来館	電話	メール	FAX, 郵便
4	25	11	6	0	5	7	4	0	0
5	24	8	1	2	5	6	2	0	0
6	26	10	8	0	2	7	3	0	0
7	26	13	11	0	2	10	3	0	0
8	26	12	7	1	4	2	3	7	0
9	24	13	4	1	8	10	3	0	0
10	27	20	10	0	10	14	3	3	0
11	24	9	3	1	5	5	3	1	0
12	23	11	5	2	4	7	3	1	0
1	25	12	6	0	6	7	4	1	0
2	22	16	3	0	13	11	3	2	0
3	25	9	4	0	5	5	2	2	0
合計	297	144	68	7	69	91	36	17	0

※開館日数には次の臨時開館日を含む。 令和7年1月13日

■資料提供

資料貸出 4件 資料掲載 44件 資料撮影 2件

■調査・観察など

令和6年 5月 17日 京都府立京都学・歴彩館 資料調査
7月 4日 京都府立京都学・歴彩館 資料貸出
7月 26日 城陽市歴史民俗資料館 資料調査
7月 30日 奈良大学 古文書調査
8月 22日 近畿日本鉄道株式会社 資料調査
9月 4日 宇治市産業振興課 資料調査
10月 10日 亀岡市文化資料館 資料調査
10月 13日 一般社団法人京都山城地域振興社 資料調査
10月 17日 宇治市住宅課 資料調査
10月 17日 城陽市歴史民俗資料館 資料貸出
10月 19日 国立歴史民俗博物館 資料調査
10月 24・25日 奈良大学 古文書調査
10月 26日 NHK文化センター京都教室 施設見学
10月 30日 立命館大学学生 発掘品調査
11月 13日 京都府立山城郷土資料館 発掘品調査
11月 27日 京都府立山城郷土資料館 資料貸出
12月 4日 亀岡市文化資料館 資料貸出
12月 11・12日 加西市教育委員会生涯学習課 発掘品調査
12月 20日 武田薬品工業株式会社京都薬用植物園 資料調査
令和7年 1月 7日 京都産業大学ギャラリー 資料調査
1月 23日 一般社団法人京都山城地域振興社 資料調査
3月 22・23日 奈良大学 古文書調査

宇治市歴史資料館年報

令和6年度・2024

令和7年11月発行
編集・発行：宇治市歴史資料館
〒611-0023
京都府宇治市折居台一丁目1番地
TEL 0774-39-9260
FAX 0774-39-9261